

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越ヶ谷高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されている。10年後の社会を見据えて、学校に寄せられる期待に十分応え、更に学校の特色や強みを生かした目指す学校像を模索し、創立100周年につなげていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	「グローバル人材育成のための教育の推進」という項目を加えて、学校の取り組むべき方向が五つの柱として設定されている。中期的な視点に立ち、課題を整理・検討して目標の重点化を進めると更に良い。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	組織体制が整備され、教育課程の大幅改訂など、学校自己評価システムに基づく取組が実施されている。中間評価の実施により、進捗状況を把握し目標管理を確実にしている。評価項目や方策が、重点目標の達成に向けて本年度重点的に取り組むものとしてふさわしく、優れた取組が実践されている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学習時間の確保や入学者選抜基準の見直しなど、評価項目の達成に向けた効果的な方策が策定されている。評価指標が取組指標と成果指標をうまく組み合わせ教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されており、方策の達成状況を評価するためのものとして適切である。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の中・長期的な課題を析出し、課題の解決の方向を示している。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、目標の達成に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者に対して年2回のアンケートを実施し、学校関係者の意見などを考察して、達成状況の把握を行っている。その結果を評価・反省に生かして、次年度の課題・改善策として適切に引き継ぎ、評価項目や具体的方策で重点化を図るなど、課題解決に向けて組織的に取り組んでおり、優れている。	
特記事項			